

横浜グリーンエクスポ 横浜市出展「建物空間を活用した発信拠点」 東京ガス株式会社を代表とする企業グループと協賛契約を締結 ～e-メタン由来の環境価値と高効率燃料電池を活用した循環型エネルギーシステムの実装～

横浜市は、横浜グリーンエクスポ会場に、地球にやさしい暮らしや環境とのかかわりを身近に体験できる2か所の拠点をつくります。そのうち、Urban GX Village内の「建物空間を活用した発信拠点」では、未来に向けて挑戦する市民・企業の皆さまとともに、「ライフスタイル・ゾーン」「フューチャー・ゾーン」の2つのゾーンを通じて、横浜市が目指す循環型の未来のまち・暮らしを発信します。

この発信拠点において実施する先進技術の展示体験について、展示物や機器・建材等の貸出・提供に向けた協議を進めてきた結果、このたび、東京ガス株式会社を代表とする企業グループとの間で合意に至り、令和8年7月21日に先進技術の展示体験に関する協賛契約を締結します。

1 協賛契約の相手先

代表構成員 東京ガス株式会社
構成員 東京ガスエコモ株式会社
東京ガス横浜中央エネルギー株式会社
東京ガスライフバル澤井株式会社

 TOKYO GAS

 東京ガスエコモ株式会社

 東京ガス横浜中央エネルギー株式会社

 TOKYO GAS LIFEVAL
東京ガスライフバル澤井(株)

2 協賛内容

- (1) クリーンガス証書(予定)※1により環境価値を移転した都市ガスで発電した電気※2の提供
- (2) 上記に必要な発電システムの設置運用(高効率燃料電池※3の設置・運転・保守及びガス管の敷設・維持・管理)を含む

- ※1 東京ガスが横浜市との連携協定(令和4年1月締結)により、「横浜市内のごみ焼却工場で発生した二酸化炭素や下水道センターで発生した消化ガス」と「再生可能エネルギー由来(主に横浜市内の太陽光発電等)の水素」を反応させて製造したe-メタン(都市ガスの主成分と同じもの)の環境価値を証書化したもの。
- ※2 今回提供される電気は、上記クリーンガス証書により環境価値を移転した都市ガスを燃料としており、実質、二酸化炭素ゼロの循環型の未来エネルギーとして提供される。
- ※3 都市ガスから取り出した水素と空気中の酸素の化学反応により発電。

3 来館者に提供する体験内容

発電・供給・運用を一体としたエネルギーシステムの発信拠点での実装を通じて、都市における持続可能で安定したエネルギー供給の実現に向けた具体的な方策を実際に見ていただくことで、来館者の理解を深めることを目指します。なお、本協賛に関連する技術・取組については、[東京ガス株式会社のプレスリリース](#)をご参照ください。



4 先進技術の展示体験を通じて伝えたいメッセージ

「世界の明日を、みんなでひらく。Circular City YOKOHAMA」をコンセプトに、サーキュラー(循環)に挑戦する協賛企業の皆さまとともに、未来にときめく体験空間を創りあげ、横浜が目指す循環型の未来の暮らし・まちを発信します。そして、暮らしの「気づき」と「きっかけ」から生まれる一人ひとりの行動を、先進技術がもたらす「未来への希望」につなげていきます。

裏面あり

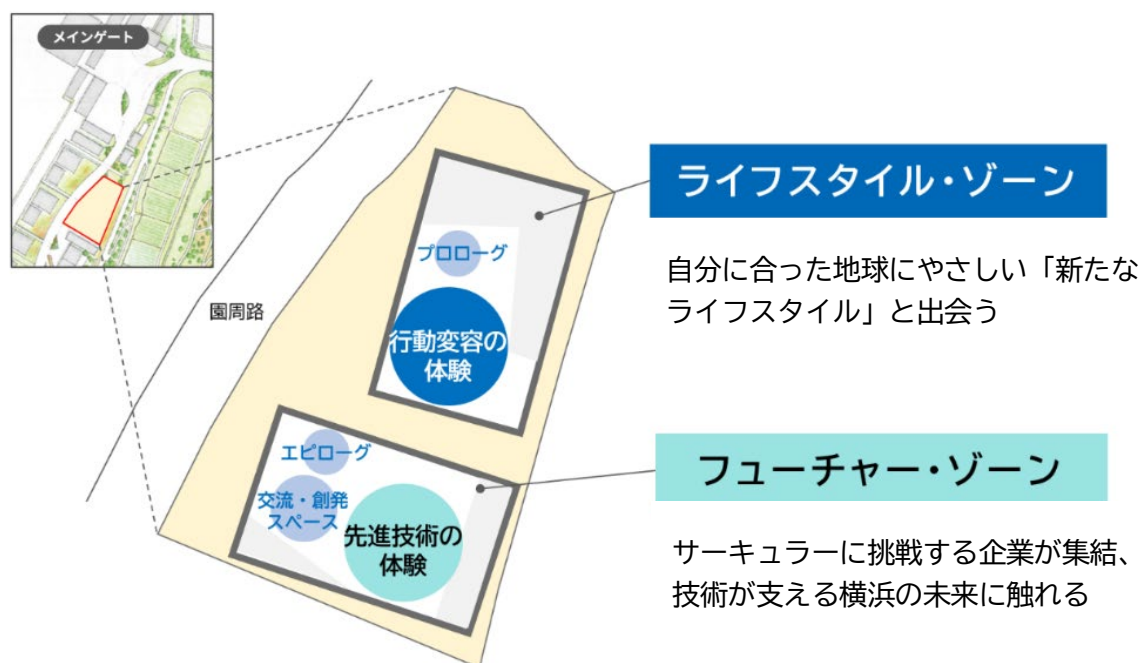


GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



5 建物空間を活用した発信拠点の概要



※詳細については、[横浜市ホームページ](#)をご参照ください。



お問合せ先

GREEN×EXPO 推進課担当課長 齋藤 TEL:045-671-4919



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

